

請願第4号 介護・福祉・医療など社会保障の

施策拡充についての請願書 討論一覧(討論順掲載)

賛成討論 門原武志 議員

介護保険料の値下げを求める。要介護1、2では特別養護老人ホームに入所できなくなっている。施設整備の遅れの解消が急務だが、その前にもせめて要介護1、2の人の特例入所を積極的に知らせることも重要。町は毎年国保税を値上げしているが、独自の法定外繰入を増やし、負担軽減を図るべきだ。今年値上げしなかった県内市町村は22。給食費を無償化すれば質が落ちるとの意見があるが、義務教育費、教科書代を無償化しても教育の質は低下しなかった。民間保育園の意義を否定しないが、町の責任を後退させてはならない。今は誘致すれば民間保育園が来てくれる恵まれた地域だが、これがいつまでも続くという保障はなく、現に公で担っている責任は手放すべきではない。難聴の原因になるおたふくかぜを防ぐワクチンは耳鼻咽喉科学会も認めているので補助は必要。常勤の歯科衛生士の配置も、町民の健康のために重要。

反対討論 中野まさひろ 議員

請願項目の中で賛同できる項目は少なからずある一方、賛同できない項目も多々あり、その中から以下の点につき反対の意見表明をさせていただきます。「6子育て支援」の(4)保育施策の抜本的拡充についてであります。民間保育所で受入れが困難な、例えば重度の障がいのある児童や特徴のある児童の受入れや、児童虐待のおそれがある子どもを継続的又は緊急避難的に受け入れる役割等を担うため、一定の数の公立保育園を確保する必要があると私も考えております。しかし、公立保育園の民間移管は、一律に反対すべきものではなく、良い保育をいかに提供するかが最も肝心なことであるとと考えております。民間であることによって、一律に良い保育の提供が阻害されるとは私は考えておらず、「公立施設の統廃合や民間移管をしないでください」という請願項目には賛同できません。以上の理由から本請願に反対いたします。

反対討論 國府田さとみ 議員

請願項目の数々、その多くは正に現場・現状を知る方々からの切実な声として真摯に受け止める。共感し、そうであって欲しいと共に願う項目が多々ある一方で、予防接種への考え方等拡充に疑問のある項目も含まれているとも感じる。いずれにしても、こうした施策拡充の実現に際しては、当然その財源論も合わせて成されていかななくてはならない。財源論における様々な立場での意見や価値観の相違をふまえ、それにまつわる提言、熟議、議論、対話といったプロセス無しに結論づけられる事では毛頭ないことから、現時点での審議において賛成とすることは極めて無責任だと考え、現時点での本請願に対しては反対とする。